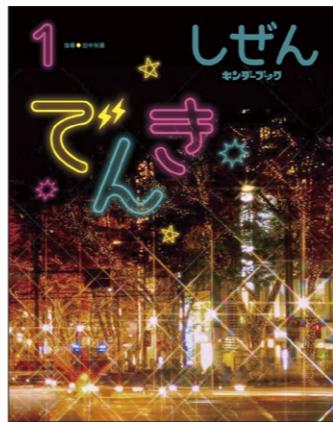


しぜん－キンターブック

1月号

今月は「でんき」

照明や暖房などで無意識のうちに使っている電気。そんな電気は私たちの生活に欠かせないエネルギーです。では電気はどのように作られて、どのように家までやってくるのでしょうか？ 身近なエネルギーである電気の秘密を紹介します。



ページをめくると

4▶5から6▶7の展開例



なににでんきをつかうのかな？

ねらい 身のまわりにあるどのような物が電気をつかっているか、考えながら読み進めましょう。



ねらい 絵をていねいに見ながら、電気のない生活を想像してみましょう。

つかい方のヒント

自分の身のまわりの物を思い出しながら、電気が生活するのに欠かせないことを実感できるよう見ていきましょう。

電気は自然の力で作られる？

16▶17ページ



ねらい

火力・原子力発電所だけでなく、水や風など自然の力で電気を作る方法にも興味をもてるようになります。

つかい方のヒント

外出先や身近な場所で見たことがある物があるかなど、話し合ってみるのもよいですね。

電気をたいせつにしよう！

20▶21ページ



ねらい

電気を作るには多くの燃料が必要で、燃料がなくなると電気が作れなくなることをイメージできるよう、見ていきましょう。

つかい方のヒント

電気をつかいすぎるとどうなるかを話し合ったり、無駄づかいをなくすために自分たちがどのように生活したらよいかを考えたりするのもよいですね。

でんきがなかつたら、どうなる？

あそび
遊び
展開例

電気のない暮らしを体験してみよう

ねらい

●電気のある生活とない生活の違いを感じる。

遊び方

(子どもが経験すること)

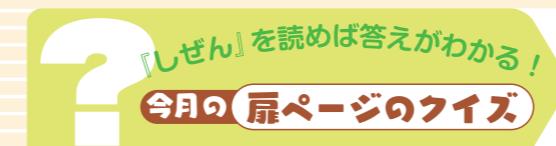
●数時間、電気を消して過ごしてみる。

●日光や影をつかった遊びを楽しむ。

保育者の配慮

●安全に配慮し、暗いことで不安になる子には安心できるよう声をかける。

●ろうそくやランタンをつかって電気の代わりに試すなど、環境工夫をして過ごし、体験後は子どもたちの気づきをことばにして、話し合えるような機会をつくる。



●でんきがないとどうなる？

●でんきエネルギーはなににへんしんする？

●でんきはどこでつくられる？

→→ 来月号は“ほね”です。お楽しみに!!